



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.hovukai.org/>

第184号

発行:2021年8月15日

発行責任者:

特定医療法人社団 鵬友会



負けるもんか

新中川病院 事務部長 松田 隆

本年1月の人事異動にて新中川病院事務部長を拝命いたしました松田と申します。なにとぞよろしくお願ひ申し上げます。いま日本はコロナ渦で出口の模索をしている真只中であります。「医療従事者はコロナワクチン先行接種」今私たちはこれまで以上に国民から頼られる存在となっております。対価として少しでも逸脱した者に対しては、「医療従事者のくせに」と一般の方より厳しい評価をされてしまう表裏一体の社会生活をいまも続けております。

令和2年2月5日この横浜で豪華客船ダイヤモンドプリンセス号の乗客から、日本で初めて新型コロナウイルス陽性患者が確認され1年半となります。あの時私たちの生活が、日本が、世界がここまで激変するとは誰が予想したでしょうか・・・

まず国民の生活様式が大きく変わりました。感染防止対策のため、不要不急の外出は控えるようになり、テレワークを導入する会社、リモート授業となる学校も増えました。旅行・観劇・コンサート・外食・カラオケ・スポーツジム等々今まで何の疑問も持たず訪れていた場所にも厳しい制限が加わりました。医療機関も例外ではなく感染を避けるため受診をためらう外来患者様にはリモート診療の導入、体温測定、アルコールによる手指消毒等々も一般社会の常識をはるかに上回る感染防止対策の徹底しております。残念ながら一連の観点から面会制限もその一つになってしまいました。

個人にも変化が現れました。人との接触を出来る限り避けることで、ストレスを発散する場所がなくなり気分転換をすることが出来なくなりました。長い時間自宅で過ごすしかなく、退屈しのぎのテレビや新聞では毎日暗いニュース「今日は何人が新規感染して何人がお亡くなりになりました。」中にはよくテレビに出演していた有名人も含まれコロナ鬱などという嬉しくない言葉も生まれました。しかし、この1年半にあった出来事は、私たちにとってマイナスなことばかりではないと考えたいのです。自分の与えられた環境にあぐらをかいてはいけない。目をそむけてしまっていた現実に改めて向き合うこともできました。

まずは、互助精神です。手前味噌になりますが医療従事者の活躍をみて、改めて支え合うことの大切さを知ったというありがたいご意見もいただいております。また、友人や家族とリモートで連絡取り合う中で直接逢える。目を見て話す。手を伸ばせば握

手ができる距離がどれほどの支えになっているのかを感じる事ができました。

次に私たちは平和ボケだったのかもかもしれません。コロナ渦になる前から世界中で貧困や、紛糾により命を落としている人間が多数存在している事に目を逸らしていました。そして日常生活が消えてしまったことで、当たり前前にできていたことがそうではなかったと思い知らされました。毎日の当たり前前に感謝をしなければならぬことを改めて学びました。

次に、人間としての責任です。自粛が叫ばれる昨今、誰かがそれを破ってしまうと全体に影響が出てしまいます。たった1人の行動で、社会が変化することを知りました。しかし反対に、1人の力の大きさとその大切さも学びました。小さな1人分の力でも、結束することで大きな力になりました。例え無力に感じてても、自分にできることがあることを感じる事ができました。長い間、常識とされていたことがこの1年半で一部が崩れましたが、同時に、大切なことを学ぶことができた1年半でした。残念ながらまだ新型コロナウイルスの収束は見えてはいませんが明るいニュースがないわけではありません。国民へのワクチン接種もここにきて加速してきております。また国産ワクチンや治療薬の開発も急ピッチで進んでいると聞きます。

最後にフランスの有名な哲学者パスカルの残した名言で締めさせていただきます。「人間は、考える葦である」解釈は、少しの風が吹くとしなり、風に屈して曲がるが、風が去ると、また元のように立ち上がる。人間とはこのように、自然や運命の暴威に対し無力であるが、それに従順に従い、そして暴威をくぐり抜けて、また元のように、みずからの姿で立ち上がる。自然界のなかでたいへん弱く、簡単に風にしなるが、柔軟性があり、運命にも暴威にも屈しない。そして何よりも、「考えることができる」すなわち「精神を持つ」ことで、ただ、自然の力、暴威として、力を無自覚にふるう風に較べて、遙かに賢明で、優れた存在である。

私たち人間は、いまは新型コロナウイルスの猛威にさらされていますが、やられっぱなしではありません。劣勢の中でも思考を止めず学習して最後は従前の生活を勝ち取る、それが人間であると私は信じております。そして遠くない将来、皆様とマスクを外してお会いできる日が絶対来ると信じて疑いません。

特集 食物アレルギーの基礎知識

◆食物アレルギーとは

アレルゲン（アレルギーを起こす物質）には、ダニ、カビ、花粉、食物などいろいろなものがありますが、その中で、特定の食べ物を摂った後に、本来なら体を守るはずの免疫システムが過剰に反応して、有害な症状を引き起こす現象を言います。

◆食物アレルギーはどうして起きるのでしょうか

私たちの体には、ウイルスや細菌などの異物が入り込むと、「抗体」を作ってそれら異物を排除しようとする「免疫」という仕組みがあります。この仕組みとして、ダニや花粉、食物などに対して、「抗体」を作ってしまうことがあります。アレルギー反応を起こす抗体をIgE抗体と呼びます。この抗体は、皮膚や粘膜にいるアレルギー反応を起こす細胞（マスト細胞）の表面にくっつき、ダニや花粉、食物などのアレルゲンが入り込んでくるのを待っています。この状態を「感作」（かんさ）と言います。この感作された状態でアレルゲンが体の中に入り込むと、アレルゲンはIgE抗体と結びつき、その刺激でマスト細胞からヒスタミンなどの化学物質が放出されます。これら化学物質が様々なアレルギー症状を誘発します。

※アレルギーの原因食物は年齢により若干異なり、小児は卵・魚卵（イクラ）・牛乳・ナッツ類などが多く、成人では小麦・魚類・甲殻類・フルーツ・そばなどが多いとされています。また、小児は自然に症状が治まっていく自然寛解が多く、成人は治りにくい傾向があります。

◆食物アレルギーの表示

発症件数が多いものや、発症した際の症状が重いものについては「特定原材料」が定められています。表示は省令で義務付けられており、食物アレルギーを持つ方々に注意喚起を促します。

▼ 特定原材料 7品目 表示義務						
						
卵	乳	小麦	そば	落花生 (ピーナッツ)	えび	かに

▼ 特定原材料に準ずるもの 推奨21品目							
							
アーモンド	あわび	いか	いくら	オレンジ			
							
カシューナッツ	キウイフルーツ	牛肉	くるみ	ごま	さけ	さば	大豆
							
鶏肉	バナナ	豚肉	まつたけ	桃	やまいも	りんご	ゼラチン

◆アナフィラキシーとは

多臓器に重篤な症状が現れる場合を「アナフィラキシー」と呼び、すぐに適切な対応をしないと生命に係る状態を言います。

ショック症状を伴う場合は「アナフィラキシーショック」と呼び、迅速かつ適切な対応をしないと生命を脅かす可能性のある、最も危険な状態です。